

令和元年7月8日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社  
代表取締役社長兼 CEO 一 木 茂  
(コード 3121 東証 2 部)  
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年  
(TEL 03-5224-4900)

## ネットカフェと連携した映像制作に関する取組の開始について

当社は、令和元年5月13日付「今後のオペレーション事業の成長戦略について」で、オペレーション事業の成長戦略について、映像コンテンツ並びにブロックチェーン技術を活用し、オペレーション事業のさらなる活性化に取り組んでいくことをご報告させていただきました。

今般、この分野の強化の一環として、当社が運営するインターネットカフェ「スペースクリエイティブ自遊空間」のフランチャイザーでもあり、直営、FC店を含め全国に**ネットカフェ 171 店舗**を運営する**株式会社ランシステム**（東証 JQ 3326、ランシステム社という）と、以下のとおり、映像作品のプロモーションタイアップについて、基本合意することを決定いたしました。

ランシステム社の運営するネットカフェ 171 店舗を活かし、コンテンツの根幹をなす原作を、日本全国から一般公募し、すぐれた原作を選定の上、当社で、プロの有名俳優、映画監督、スタッフを起用し、さらに魅力的な作品に仕上げ、年間 2~3 作品の映画やドラマ（劇場公開、放送、配信用）の映像コンテンツを制作し、提供いたします。コンテンツの制作にあたりましては、資金の回収リスクを限定するため、1 作品あたりのコスト（制作費、プロモーション費等）を、300 万円を上限に、また、第三者から資金を募り、行います。

さらに、エンターテインメントとしてコンテンツの活用することにより、インターネットカフェの娯楽施設としての魅力を高める効果をも期待し、ランシステム社の運営するネットカフェ 171 店舗で、出来上がったコンテンツのプロモーションを行ってまいります。

今回の映像制作については、制作費・プロモーション費といった予算を限定したうえで、配信や放送などから得られる収入により、大きな利益を期待する著作権ビジネスを目指し、更なる新しい魅力ある原作の発掘とプロモーションを行ってまいります。

配信に関しては、当社子会社、MBKブロックチェーン株式会社の連携先等、ブロックチェーン技術に関するリソースを活かし、今後、ストリーミング、ダウンロードへのセキュリティの強化及び、ストレスのないスムーズなサービス提供を構築してまいります。

エンターテインメントにおける各分野でのシナジーを増やしつつ、当社のオペレーション事業の拡大に尽力を注いでまいります。

ランシステム社の概要は、以下のとおりであります。

(1)名 称	株式会社ランシステム			
(2)所 在 地	東京都豊島区池袋2丁目43番1号（東京本社）			
(3)代 表 者	代表取締役社長 日高 大輔			
(4)事 業 内 容	複合カフェ「スペースクリエイト自遊空間」等の経営			
(5)資 本 金	803,314 千円			
(6)設 立 年 月 日	1988 年 12 月			
(7)当 社 と の 関 係	当社がフランチャイジーとして運営するネットカフェ2店舗について、その他、人的、資本的又は取引関係はありません。また、関連当事者に該当いたしません。			
(8)財政状態及び経営成績				
	決算期	2016 年 6 月期	2017 年 6 月期	2018 年 6 月期
連 結 純 資 産		2,026,758 千円	1,725,792 千円	1,795,352 千円
連 結 総 資 産		4,846,552 千円	5,460,049 千円	5,307,721 千円
連 結 売 上 高		8,150,702 千円	8,466,057 千円	8,501,702 千円
連 結 営 業 利 益		213,297 千円	94,069 千円	97,473 千円
連 結 経 常 利 益		220,027 千円	101,512 千円	93,068 千円
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益		25,317 千円	△226,781 千円	76,738 千円

本日、本基本合意について決定し、近日中に基本合意書を締結のうえ、令和元年8月下旬より、当社で制作する映像コンテンツの原作の公募を開始する予定であります。

上記の成長戦略により、中長期的に、当社オペレーション事業の業績に寄与するものと考えておりますが、現段階におきまして、当面の業績に与える影響は軽微であると考えており、業績に重要な影響を与える事象が生じましたら、改めてご報告させていただきます。

以 上